

靴の歴史散歩 ⑧7

皮革産業資料館 副館長 稲川 實

靴業の祖、西村勝三を知るには、『西村勝三翁傳』（大正10年・西村翁傳記編纂會）と、これを底本に、新資料を加えた佐藤栄孝（靴商工新聞社主）の労作『西村勝三の生涯』（昭和43年・西村翁伝記編纂會）の二冊がある。

西村勝三は、靴、皮革の他にも、^{ガス}瓦斯、^{ガラ}洋服仕立、メリヤス、耐火煉瓦、そして硝子など数多くの事業を興したから、明治の工業の父といわれた人物である。

新資料の発見に夢を託し、送られてくる古書目録とも、長い間にらめっこをしてきたが、その成果が現われてきたらしく、前回紹介の『向島櫻組製造品定價表』に続いて、西村勝三の人物伝なる珍書も出現、めでたくこれも皮革産業資料館の収蔵となったからうれしい。

そこで早速、その人物伝なるものをご紹介します。

表題は『起業秀才 明治百商傳』第一卷（明治13年・竹内^{かくてい}蟻亭編纂）というもので、タテ18.2cm×ヨコ12.8cm、72頁の小型本である。表紙はもともと黒っぽいうえに、127年の経過もあって、どうしても写真映りが悪いので、中扉の題字で代用させていただいた（写真参照）。またその頃の写真が、西村翁傳にあったので、転載したからあわせてご覧いただきたい。

巻頭の編者識に「此書一卷ヨリ二卷三卷漸次発兌シテ必ス巨商百人ノ傳ヲ全フセ



明治12年（44歳）

ントス 幸ヒニ愛顧ヲ賜ヘ」とあって、第一巻目録に以下の名があった。

- ・高島嘉右衛門君傳
- ・澁澤榮一君傳
- ・大倉喜八郎君傳
- ・岩崎彌太郎君傳
- ・西村勝三君傳
- ・五代友厚君傳
- ・中野梧一君傳
- ・田中平八君傳
- ・故三野村利左衛門君並三野村利介君傳
- ・益田孝君傳

と11名の名があるが、十巻完結の売れ行きを左右する第一巻に、しかもその5人目に載っているということは、西村勝三45歳にして、起業秀才のトップにあった、と読みとることができるのではないだろうか。

（この項続く）

